

授業科目名 (英文表記)	オトナのスポーツ老年学入門 ～生涯スポーツのプロモーションを考える～ (The Introduction for Sport Gerontology : Promoting the Lifelong Sport for the Aging Population)		
単位数	2	授業形態	講義・演習
担当教員	彦次 佳 (ゲスト講師：辰巳 信平、谷所 慶)		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月19日(金) 18:30～20:50	担当：彦次 (ゲスト講師：辰巳信平、谷所 慶)	
	第2回 6月20日(土) 10:00～16:00	担当：彦次 (ゲスト講師：辰巳信平、谷所 慶)	
	第3回 7月17日(金) 18:30～20:50	担当：彦次	
	第4回 7月18日(土) 10:00～16:00	担当：彦次	
	第5回 8月7日(金) 18:30～20:50	担当：彦次	
	第6回 8月8日(土) 10:00～16:00	担当：彦次	
【授業のねらい・概要】			
<p>本講義では、年齢を重ねていく中でスポーツの楽しみ方を広げていく「スポーツ老年学」の仮説的命題を、①実際に全身で感じ、②論理的に学び、そしてそれらを③プロモーションするための方法や戦略について体得することを目的とする。そこで、第1回目と第2回目を使って、ゆったりとゆったりと楽しむレジャー・スポーツの旅にでる。実際にカヌートリップのフィールドワークを体験することにより、南紀熊野サテライト周辺の素晴らしい景観とそこでスポーツを楽しむ醍醐味についてじっくりと触れる。第3回目と4回目では、それらがオトナのスポーツの楽しみ方の中でどのような位置づけにあるのかをスポーツ老年学の視点から捉える。そして、第5回目と6回目では、それらを多くの人に楽しんでもらうためにはどのような事業を考え、どのように事業を進めていかなければならないかを、体系的に学習する。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回～第2回『オトナのスポーツライフ・フィールドワーク』 (担当：彦次、ゲスト：辰巳、谷所) 本講義のイニシャルプログラムとして、オトナになってからこそ味わいが深くなるオトナのスポーツの楽しみ方とプログラムを実際に体験する。シーカヤクトリップというレジャー・スポーツ体験を通して注1、南紀熊野サテライト周辺の自然の美しさと豊かさ、雄大さとその大切さを知り得るだけでなく、一般的にスポーツが持っている「早さ」や「強さ」といったイメージとは異なるスポーツの価値や楽しさを体感する。注1：荒天の際は日程を延期するなどの変更を行いません</p>			
<p>第3回～第4回『オトナのスポーツライフとプロモーション』 (担当：彦次) 健康づくり・体力づくりを主な活動目的とする運動・スポーツ実施(ヘルス・スポーツ)、余暇充足・趣味としての楽しさを満喫することを主な活動目的とするスポーツ実施(レジャー・スポーツ)、技を磨き競うというスポーツの本質的な楽しさに挑戦することを主な活動目的とするスポーツ実施(マスターズ・スポーツ)を紹介し、それらの基本的な知識と考え方を学習し、また、それらの活動によってどのような便益がもたらされるのかを学習する。</p>			
<p>第5回～第6回『生涯スポーツのプロモーション』 (担当：彦次) 第1回～第4回までで体得したオトナのスポーツの楽しみ方の実践と知識をプロモートするための方法論として、運動・スポーツ活動の推進事業を効果的に実施するための方略について学習する。世界中から集めた運動・スポーツ活動に関する事業の情報から、成功的事例に共通して重要視されている振興概念や推進指標を紹介し、オトナのスポーツ・プロモーションの方法について理解を深め、それらについて皆で議論を交わしていく。</p>			
【到達目標】			
<p>本講義の到達目標は、成人期以降の多様なスポーツの楽しみ方とスポーツ・プロモーションの方法論について理解を深めること、また、歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義と、その可能性について議論することとする。</p>			
【教科書】			
<p>特に定めません。適宜、資料を配布します。</p>			
【参考書】			
<ul style="list-style-type: none"> ・『ジェロントロジースポーツー成熟人生を「好く」生きる人のためのスポーツライフ』(長ヶ原 誠, ジェロントロジースポーツ研究所:2007) ・『生涯スポーツ実践論 改訂4版』(川西 正志・野川 春夫 編著, 市村出版:2013) 			
【成績評価方法】			
<p>議論への参加状況(40%)、小レポート(30%)、最終レポート(30%)など総合的に評価します。(評価責任者：彦次)</p>			
【授業時間外学修】			
<p>本講義を通して普段何気なく見ているスポーツの現象などに対して、これまでより注意深く見る目を持ち、その現象がどのように発生しているのかなどを考えることを、本講義の時間外学習として位置付けます。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>第1回目の持ち物については、事前にアナウンス・相談を行なう。</p>			